

学校法人向け事務系システム



マイナンバー バージョンアップ 操作手順書

Version 1.0.2

令和4年9月16日版



株式会社 シティアスコム

URL <http://www.city.co.jp/products/tomas/>

<改訂履歴>

ver.	作成日	変更理由及び変更内容	変更者
1.0.0	2016/2/19	初版作成	松永
1.0.1	2016/9/16	画面の差し替え。注意事項追記。	藤永
1.0.2	2022/9/16	HP よりファイルをダウンロードしてバージョンアップする方法に変更	村井

操作手順書のバージョン番号は、マイナンバーシステムの各種プログラムのバージョン番号と異なります。

パソコン環境やプログラムのバージョンによっては、実際のモニタ画面とくらべて、操作手順書の画面イメージが異なる場合もあります。また、各種プログラムの拡張子（.exe .ora など）が表示されないこともあります。

<著作権及び特記事項>

Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8.1、Visual Studio 2010、および .NET Framework は、Microsoft Corporation の米国ならびにその他の国における商標です。

Oracle はオラクル社の登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

目次

1. はじめに	4
1.1. バージョンアップの種類	4
1.2. バージョンアップを始める前に	4
1.3. マイナンバーシステムが複数の端末で稼動している場合	4
2. バージョンアップ初期準備	5
2.1. バージョンアップファイルのダウンロード	5
2.2. バージョンアップファイルの展開	7
2.3. TOMAS の起動	8
3. クライアントのバージョンアップ処理手順	9
4. サーバーのバージョンアップ処理手順	11
5. バージョンの確認	12

バージョンアップを適用する順番は各バージョンによって異なる場合があります。
バージョンアップ同封書類の案内文章をご確認ください。

1. はじめに

1.1. バージョンアップの種類

バージョンアップは以下の2つの処理を行う必要があります。

- ①クライアント・・・クライアント側のプログラムの入替えを行います。
- ②サーバー・・・サーバー側のプログラムの入替えを行います。

特に指定がない場合は、クライアントとサーバーのどちらを先にバージョンアップしても問題ございません。

ただしサーバーを先にバージョンアップした場合は、TOMAS を再起動時に「クライアントのバージョンアップをしますか」を「いいえ」で選択し、ログオン後に「バージョンアップ」画面に移動してクライアントのバージョンアップを実施してください。

1.2. バージョンアップを始める前に

サーバーのバージョンアップを始める前には、念のためマイナンバーシステムにてバックアップ処理を「すべて」で行ってください。

バージョンアップはマイナンバーシステムが導入されている端末で行ってください。

（バージョンアップ処理中は、他の端末でのマイナンバーシステムおよび人事給与システムの使用は行わないでください。）

ご注意）バージョンアップ手順書の画面のバージョン（現在のバージョン、アップデートのバージョン）は、実際のバージョンと異なります。

最新のバージョンは、「書類送付のご案内」に記載しておりますので、そちらをご確認ください。

1.3. マイナンバーシステムが複数の端末で稼働している場合

サーバーのバージョンアップは任意の端末により1回のみ行ってください。

（全ての端末で行う必要はありません。）

ただし、クライアントのバージョンアップは各端末で行ってください。

2. バージョンアップ初期準備

2.1. バージョンアップファイルのダウンロード

TOMAS-PS ユーザーサイトにログインして、[マニュアル・資料ダウンロード]→[アプリケーション]を選択してください。(<https://www5.city.co.jp/>)

以下はログイン後の画面となります。

「マニュアル・資料ダウンロード」→「アプリケーション」を選択してください。



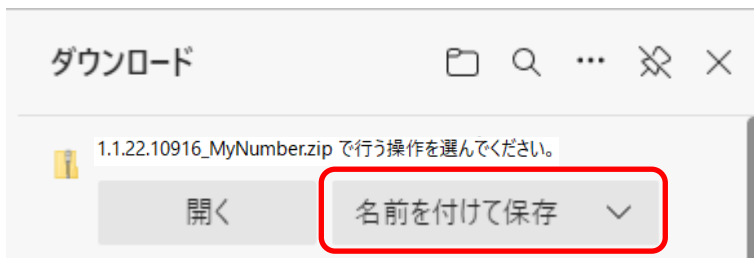
[マイナンバーバージョンアップ [XXXX.XX.XX]]を選択してください。

※XXXX.XX.XX は日付になります。

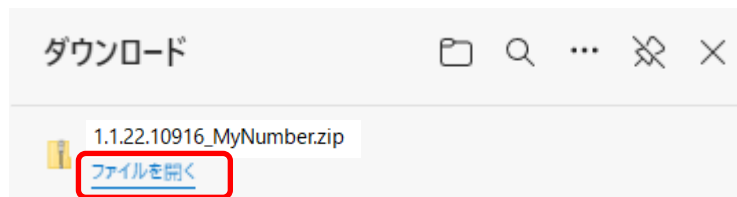


複数日付存在する場合は、
番号が大きいものを選択してください。

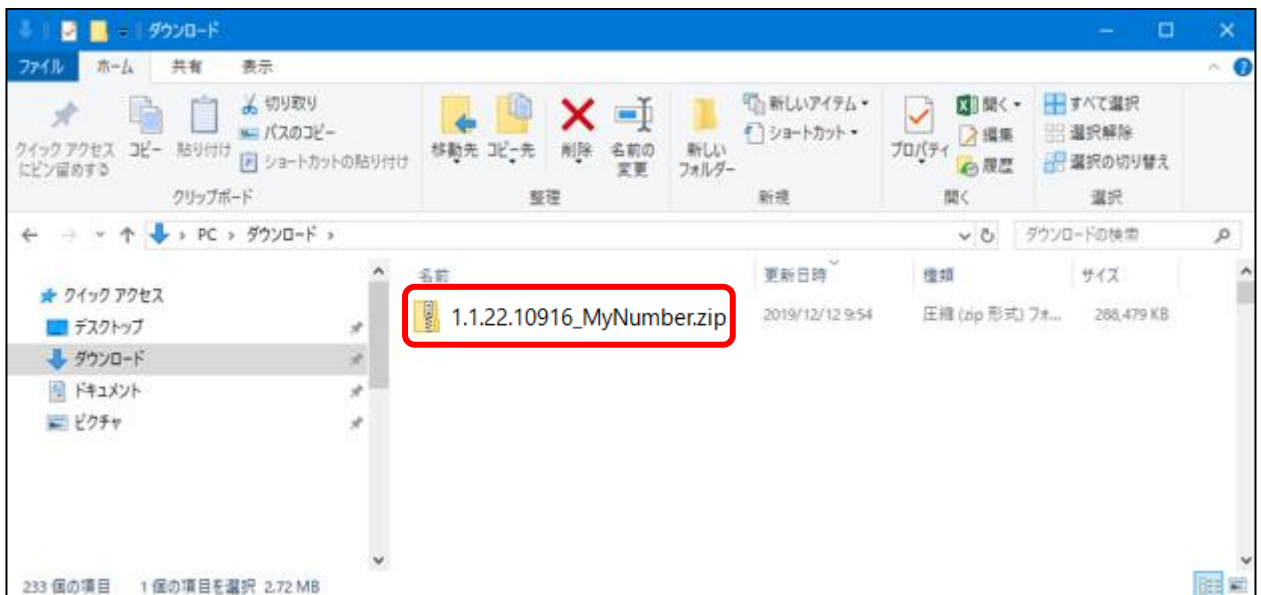
[名前を付けて保存]を選択してください。



ダウンロード完了のメッセージが表示されたら、[ファイルを開く]を選択してください。



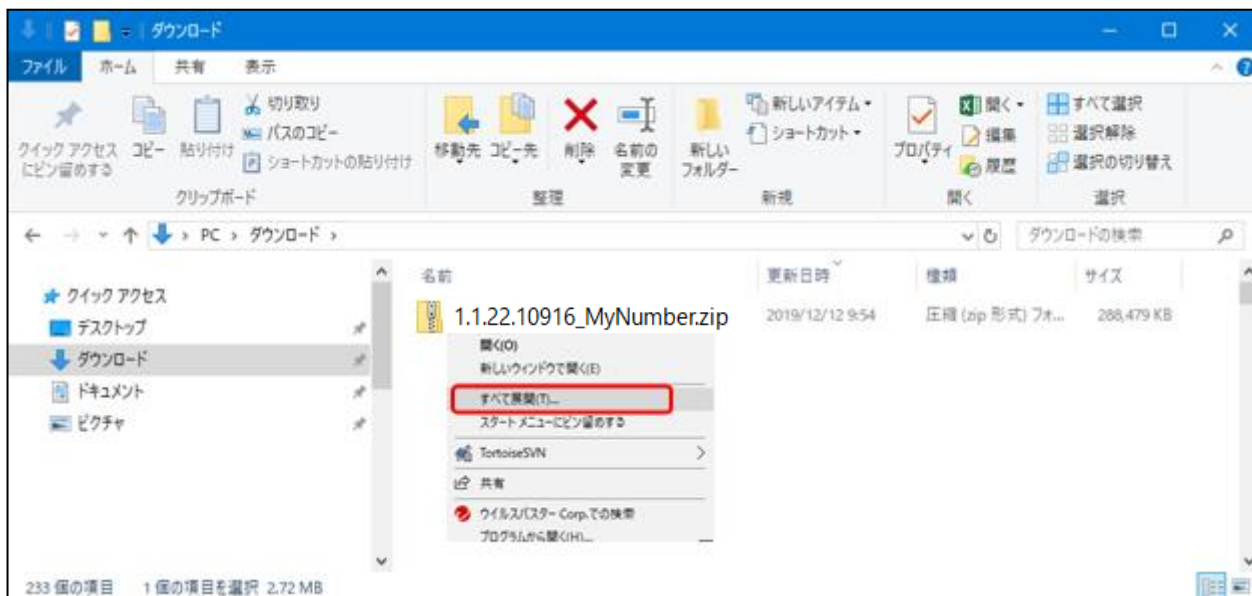
※ご使用のブラウザによっては「保存」や「フォルダを開く」等のメッセージが表示されないものがございます。自動保存されるようなブラウザの場合、初期設定ではダウンロードフォルダに保存されます。エクスプローラよりダウンロードフォルダに、ユーザーサイトに表記されたバージョン番号と同名のファイルが保存されていないかをご確認ください。



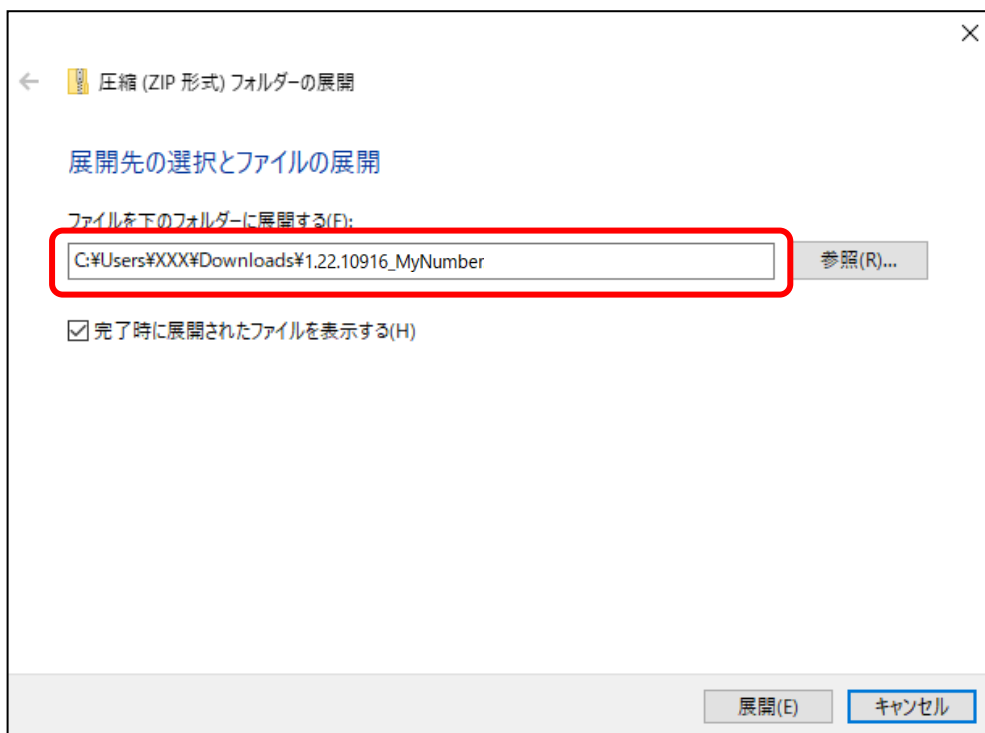
2.2. バージョンアップファイルの展開

ダウンロードしたバージョンアップファイルを右クリックしてメニューを開き、「すべて展開」を選択してください。

(解凍ソフト等をインストールされている場合は、メニューに「すべて展開」が表示されない場合がありますので、インストールされているソフトの手順に従って解凍してください)



以下の画面が表示されますので、展開するフォルダ（任意の保存先を）指定して、「展開」を選択してください。（※全角文字が含まれるフォルダ下には解凍しないようご注意ください。）



2.3. TOMAS の起動

TOMAS マイナンバーシステムを起動し、ユーザーは「システム管理者」でログオンしてください。

メニューの[システム情報]→[バージョンアップ]を選択してください。以下の画面が起動します。

対象	処理後バージョン		処理PC	バージョンアップ日付	処理者
	データベース	クライアント			
1 データベース	1.1.22.10916		P06957	2022/09/16	インストラクタ
2 データベース	1.1.22.10905		P06957	2022/09/05	インストラクタ
3 データベース	1.1.22.10905		P06957	2022/09/05	インストラクタ
4 データベース	1.1.22.10905		P06957	2022/09/05	インストラクタ
5 クライアント		1.1.22.10905	P06957	2022/09/05	インストラクタ

項目名	※必須項目	説明
① バージョンアップ履歴		一覧表には過去にバージョンアップを行った履歴が表示されます。
② 他の環境も表示する		データベースに複数の給与環境が存在する場合、チェックを入れることで別の環境のバージョンアップ情報がリストに表示されます。 通常は使用しません。
③ バージョンアップ情報 ※		解凍したフォルダに含まれるファイルの指定を行います。指定されたファイルの情報が表示されます。
④ バージョンアップ対象		クライアント、データベース(サーバー)のどのバージョンアップを行うかの指定を行います。
⑤ バージョン情報		現在のバージョンとアップデートを行うプログラムのバージョンが表示されます。
⑥ 情報再読込		ボタンを押すと、「UpdVersion.xml」ファイルの内容を再度読み込み、バージョン情報の内容が更新されます。

[ファイル選択]ボタンを押下して、解凍したフォルダ内の「UpdVersion.xml」ファイルを選択してください。バージョンアップ情報に、選択した「UpdVersion.xml」が表示されていることを確認してください。一度選択した情報は次回画面を開いた時也表示されます。

3. クライアントのバージョンアップ処理手順

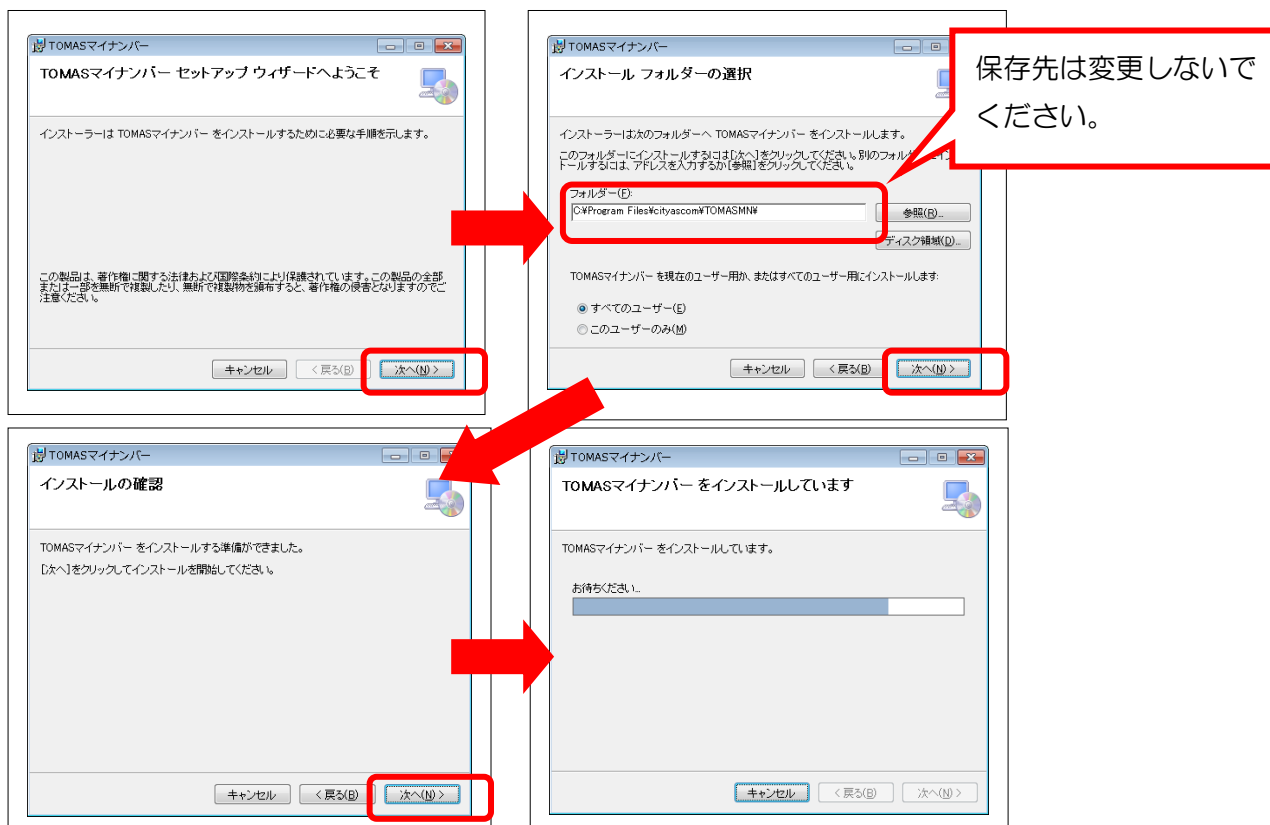
バージョンアップ対象は「クライアント」を選択してください。

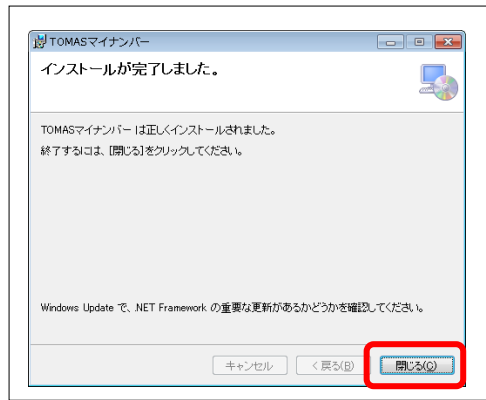
(サーバーが先の場合は「4.サーバーのバージョンアップ処理手順」から実施してください。)

[実行]ボタンを押すと、クライアントのバージョンアップ処理が開始されます。



TOMAS マイナンバーシステムが終了し、以下の画面が表示されますので、そのまま「次へ」ボタンを押して行ってください。





完了画面「インストールが完了しました。」が表示されたら[閉じる]ボタンを押してください。その後 TOMAS マイナンバーを起動し、ログオン画面を表示してください。引き続き、サーバーのバージョンアップ作業を行う場合は、ログオン後に「バージョンアップ」画面に移動してください。

■クライアントを複数の端末に導入している場合

他の端末でマイナンバーシステムを使用する場合、各端末で作業を行う必要があります。

5. バージョンの確認

バージョン情報の「クライアント」と「データベース」の[現在のバージョン]と[アップデートのバージョン]が同じであることを確認してください。

バージョンアップ履歴

他の環境も表示する

対象	処理後バージョン		処理PC	バージョンアップ日付	処理者
	データベース	クライアント			
1 データベース	1.1.22.10916		TOMAS-TEST1	2022/09/16	システム管理者
2 データベース	1.1.22.10916		TOMAS-TEST1	2022/09/16	システム管理者
3 クライアント		1.1.22.10916	TOMAS-TEST1	2022/09/16	システム管理者

バージョンアップ

バージョンアップ情報 C:\¥1.1.22.10916¥UpdVersion.xml

バージョンアップ対象

クライアント データベース

バージョン情報

	現在のバージョン	アップデートのバージョン
クライアント	Ver. 1.1.22.10916	Ver. 1.1.22.10916
データベース	Ver. 1.1.22.10916	Ver. 1.1.22.10916

DBバージョンアッププログラム C:\¥1.1.22.10916¥Oracle¥sqlplus.exe

バージョンアップを行います。「実行」ボタンを押して開始してください。 2022年09月16日 18時54分

★アップデートのバージョンは、「書類送付のご案内」に記載しています。